

# 特定健康診査・特定保健指導実績報告書

平成29年度版

(平成28年度実績)

東京都北区

区民部国保年金課



## 目 次

### 第 1 章 計画と目標

1	特定健診等実施計画	1 頁
2	目標設定	1 頁
3	人口・被保険者推移	2 頁
4	実施機関及び実施方法	2 頁
5	案内方法等	3 頁
6	事業の所管	3 頁

### 第 2 章 特定健康診査・特定保健指導の実施結果

1	特定健康診査の実施結果	
①-1	受診率	4 頁
①-2	男女別・年齢別の受診率	5 頁
①-3	男女別・年齢別の受診率前年度比較	6 頁
②-1	受診結果	7 頁
②-2	男女別の受診結果	8 頁
②-3	年齢別受診結果	8 頁
③	服薬の状況	9 頁
④	該当項目別の状況	11 頁
2	メタボリックシンドローム該当者の減少率	13 頁
3	特定保健指導の実施結果	
①-1	利用率及び実施率	14 頁
①-2	男女別・年齢別の受診率	15 頁
②	腹囲・体重の変化	15 頁
4	まとめ	17 頁

## 第1章 計画と目標

### 1 特定健診等実施計画

平成20年3月、「東京都北区国民健康保険特定健診等実施計画」を平成24年度までの5年を1期として策定した。

計画改定の年に当たる平成25年5月、「東京都北区国民健康保険特定健診等実施計画第2期」を策定した。第2期は、平成29年度までとしている。

### 2 目標設定

国が定めた目標値によれば、平成24年度における国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率を65%、特定保健指導実施率を45%とし、メタボリックシンドロームの該当者・予備群を平成20年度に比べ10%減少させることとしている。

北区における年度ごとの目標率は、国が「特定健康診査等基本指針」で示した目標率を基準に下表のとおりとした。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
特定健診目標率	45%	50%	55%	60%	65%
特定保健指導目標率	10%	15%	25%	35%	45%
内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率	—	—	—	—	10%減少

第2期の目標値は、国が定めた目標率によれば、平成29年度における特定健康診査受診率を60%、特定保健指導実施率を60%としている。

北区における年度ごとの目標率は、国が「特定健康診査等基本指針」で示した目標率を基準にした下表のとおりとした。

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特定健診目標率	45%	47%	49%	51%	60%
特定保健指導目標率	25%	29%	33%	37%	60%
内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率	—	—	—	—	10%減少

### 3 人口・被保険者推移

北区の人口・被保険者数の推移・加入状況

28年度末現在

年度	北 区		国民健康保険加入者		加入率	
	世帯数	人口(人)	世帯数	被保険者数(人)	世帯加入率(%)	被保険者加入率(%)
23	169,872	332,758	66,255	101,541	39.00	30.51
24	179,169	333,406	65,562	99,795	36.59	29.93
25	181,348	335,818	65,188	98,107	35.95	29.21
26	184,300	338,854	64,772	95,956	35.14	28.32
27	188,030	342,732	64,198	93,351	34.14	27.24
28	191,559	346,249	62,027	88,152	32.38	25.46

(「平成29年度版 北区の国保」より)

※被保険者数は年度末(3月31日)現在。人口は翌日の4月1日現在。

※世帯数については、平成23年度以前は外国人を含まない数値、平成24年度以降は外国人を含む数値である。

### 4 実施機関及び実施方法

特定健康診査及び特定保健指導の一部は、被保険者が身近な場所で気軽に受けることができ、かつ保険者の事務の効率が図れるように東京都北区医師会に委託した。

#### (1) 特定健康診査の委託先と実施場所

- ① 委託先 : 東京都北区医師会
- ② 実施場所 : 東京都北区医師会に加入する実施医療機関 (130医療機関)
- ③ 実施時期 : 6月1日(水)～8月31日(水)
- ④ 特定健康診査の自己負担金

健診費用は、医療費に自己負担があるのと同様に、本来は、受診者が一部を負担することが原則であるが、これまで基本健診を無料で実施してきたことなどにより被保険者の自己負担金を無料とした。

#### ⑤ 検査項目

: 基本的な健診項目

問診・身長・体重・BMI・腹囲測定・理学的検査・血圧測定・肝機能検査・血中脂質検査・血糖検査・尿検査

: 詳細な健診項目(医師が必要と判断した方)

眼底検査・心電図

：肝炎検診（40歳）

：追加健診項目

血液一般検査・尿潜血・血清クレアチニン・血清尿酸・血清アルブミン  
（65歳以上の対象者）・胸部X線

※ おたっしゃ健診（65歳以上の対象者）は、25年度で終了。

## （2）特定保健指導の委託先と実施場所

- ① 委託先       ：東京都北区医師会に加入する実施医療機関（6医療機関）  
                  外部委託機関
- ② 実施場所     ：委託先医療機関及び外部委託機関（区内公共施設を使用）
- ③ 実施時期     ：8月～11月に初回面接を実施。その後、約6か月にわたり指導  
                  を行う。
- ④ 特定保健指導の自己負担金  
                  国は、特定保健指導についても自己負担金を求めることができるとしている  
                  が、指導を受けやすいように利用者の自己負担金を無料とした。
- ⑤ 指導内容     ：動機付け支援  
                  ：積極的支援

## 5 案内方法等

北区ニュース及びホームページに掲載し、対象者に特定健康診査受診券、特定保健指導利用券を個別に送付した。

特定健診に関しては、平成27年9月以降に転入もしくは国保の新規加入した方へ、事前の案内として28年3月に「28年度の特定健康診査のお知らせ」を送付した。

また、前年度の特定健康診査を受診していない50歳未満の方を対象に、健診実施期間中に「特定健康診査のご案内」（はがき）を送付し、受診勧奨を行った。

なお、特定保健指導に関しては、電話による利用勧奨を実施した。

## 6 事業の所管

本事業は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、国保年金課が所管する事業であるが、健診事業を一元化して、区民にわかりやすく効率的な事業とする必要から、平成28年度も特定健康診査は「健康推進課」に執行を委任した。

## 第2章 特定健康診査・特定保健指導の実施結果

### 1 特定健康診査の実施結果

#### ①-1 受診率（法定報告）<sup>1</sup>

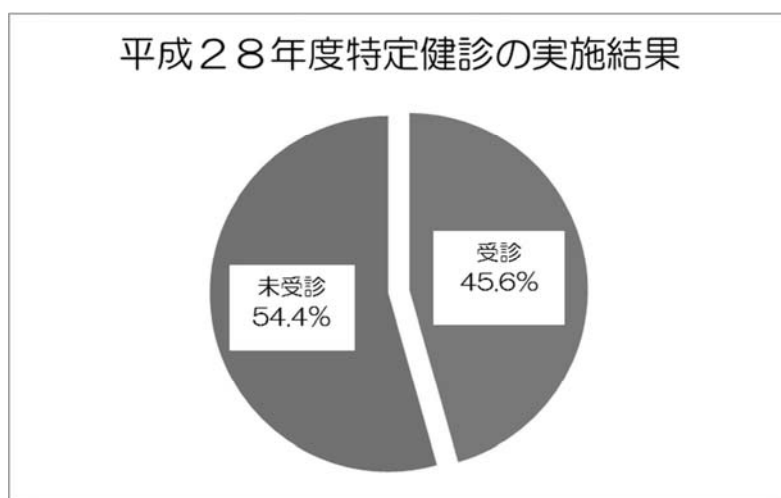
特定健康診査の受診率は、前年度（45.2%）を0.4ポイント上回り45.6%であった。前年度に比べ健診対象者が3,625人減少し、受診率は、男性・女性とも0.4ポイント上昇した。また、目標値には届かなかったものの、東京都の特別区計受診率42.5%を上回った。（東京都福祉保健局保健政策部「平成29年12月13日付け平成28年度特定健診・特定保健指導実施結果」による）

《平成28年度》

健診対象者（人）			受診者数（人）			受診率		
男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
26,231	27,570	53,801	9,988	14,540	24,528	38.1%	52.7%	45.6%

《平成27年度》

健診対象者（人）			受診者数（人）			受診率		
男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
27,952	29,474	57,426	10,536	15,417	25,953	37.7%	52.3%	45.2%



<sup>1</sup>法定報告とは、加入者のうち健診実施年度中に40～74歳となる者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ当該実施年度の1年間を通じて加入している者（年度途中での加入・脱退等異動のない者）を対象とする。

【参考】特定健診受診者数・受診率（実施者数<sup>2</sup>）

年度	健診対象者数（人）			受診者数（人）			受診率		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
28	31,133	32,735	63,868	11,284	16,393	27,677	36.2%	50.1%	43.3%
27	32,196	33,828	66,024	11,712	17,027	28,739	36.4%	50.3%	43.5%

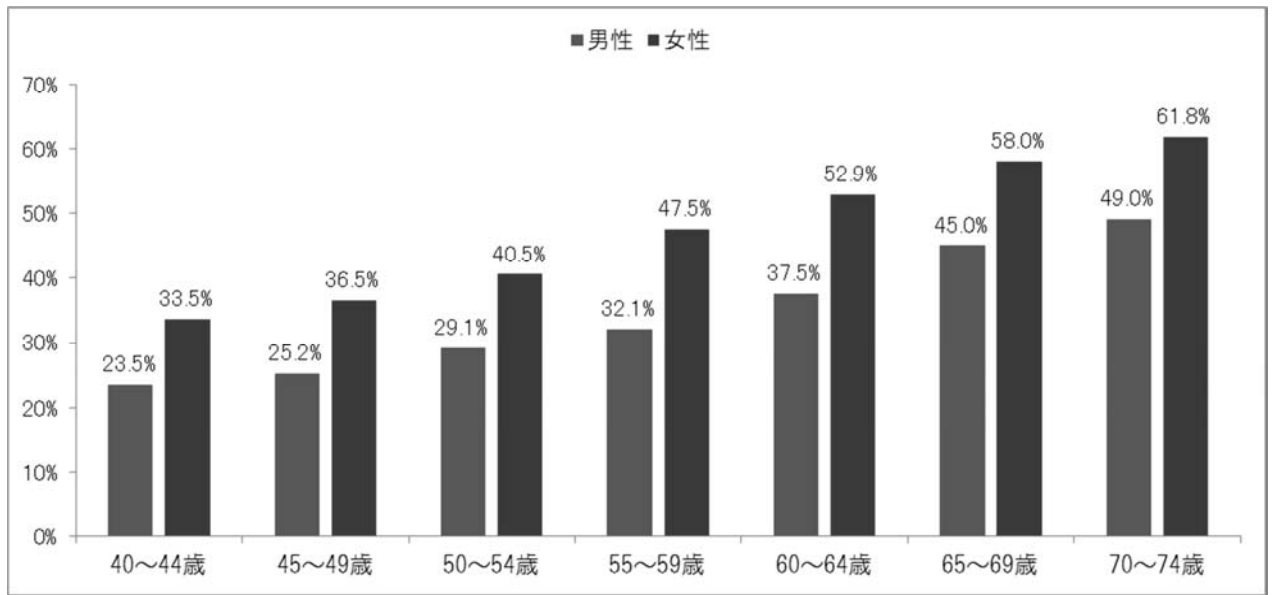
実施者数から算定した受診率では、北区の平成28年度の受診率は、43.3%であり、前年度（43.5%）を0.2ポイント下回り43.3%であった。受診率は、男性が0.2ポイント、女性が0.2ポイント減少した。

①-2 男女別・年齢別の受診率（法定報告）

全ての年代において女性の受診率が高い。また、年齢が上がるにつれて男女ともに受診率が上がる。

年齢	健診対象者数（人）			受診者数（人）			割合		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
40～44歳	2,662	1,959	4,621	625	657	1,282	23.5%	33.5%	27.7%
45～49歳	2,852	2,220	5,072	718	810	1,528	25.2%	36.5%	30.1%
50～54歳	2,559	2,115	4,674	744	857	1,601	29.1%	40.5%	34.3%
55～59歳	2,196	2,217	4,413	704	1,054	1,758	32.1%	47.5%	39.8%
60～64歳	3,079	3,568	6,647	1,156	1,886	3,042	37.5%	52.9%	45.8%
65～69歳	6,805	7,759	14,564	3,062	4,497	7,559	45.0%	58.0%	51.9%
70～74歳	6,078	7,732	13,810	2,979	4,779	7,758	49.0%	61.8%	56.2%
計	26,231	27,570	53,801	9,988	14,540	24,528	38.1%	52.7%	45.6%

<sup>2</sup>北区特定健診・特定保健指導事業の実施者数は、年度途中での加入・脱退等異動者（法定報告では除外される）を含めた実施者数である。健診対象者は、受診券発行数とする。



### ①-3 男女別・年齢別の受診率前年度比較（法定報告）

男女別・年齢別の受診率を前年度と比較すると、40・50・60歳代の受診率は増えている。

	性別	平成27年度	平成28年度	増減ポイント
40~49歳	男	24.0 %	24.4 %	0.4 %
	女	34.2	35.1	0.9
50~59歳	男	30.4	30.5	0.1
	女	42.6	44.1	1.5
60~69歳	男	42.0	42.7	0.7
	女	56.2	56.4	0.2
70~74歳	男	49.0	49.0	0.0
	女	62.3	61.8	-0.5



## ②-1 受診結果（法定報告）

特定健康診査の結果、受診者に占めるメタボリックシンドローム該当者及びその予備群の割合は28.9%であった。前年度に比べ該当者の割合が0.7ポイント増え、予備群の割合が0.3ポイント増加した。

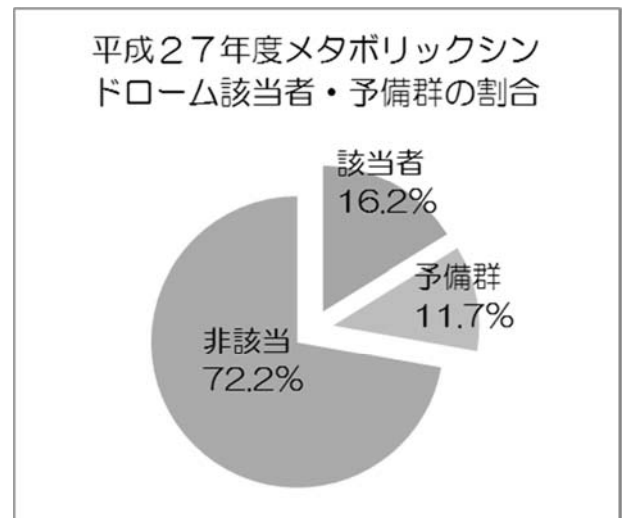
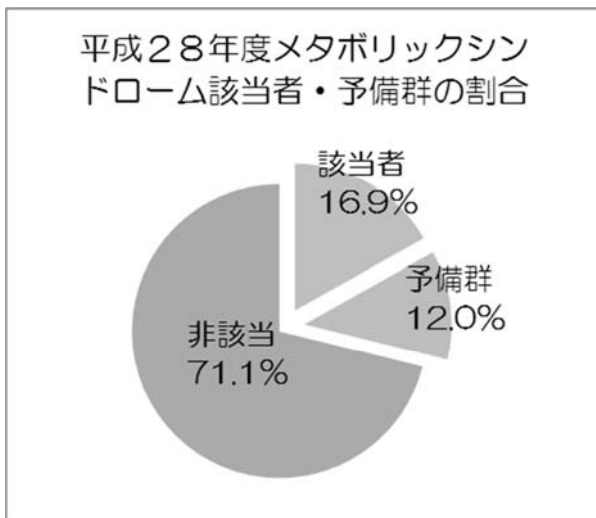
※非該当の中には、血液検査ができなかった等の理由により判定不能の方を含む。

《平成28年度》

該当者 (人)	予備群 (人)	非該当 (人)	評価対象者数 (人)	割合		
				該当者	予備群	非該当
4,144	2,942	17,460	24,546	16.9%	12.0%	71.1%

《平成27年度》

該当者 (人)	予備群 (人)	非該当 (人)	評価対象者数 (人)	割合		
				該当者	予備群	非該当
4,196	3,025	18,742	25,963	16.2%	11.7%	72.2%



### ★メタボリックシンドローム判定基準

健診区分		検査項目	判定値	メタボリックシンドローム判定	
A	計測	腹囲	男85以上	該当者	予備群
			女90以上		
B	血圧	収縮期	130以上	Aに該当し、かつB～Dのうち2項目以上に該当	Aに該当し、かつB～Dのうち1項目に該当
		拡張期	または85以上		
		または、高血圧の服薬中			
C	脂質代謝	中性脂肪	150以上	Aに該当し、かつB～Dのうち2項目以上に該当	Aに該当し、かつB～Dのうち1項目に該当
		HDLコレステロール	または40未満		
		または、高脂血症の服薬中			
D	糖代謝	血糖	110以上	Aに該当し、かつB～Dのうち2項目以上に該当	Aに該当し、かつB～Dのうち1項目に該当
		ヘモグロビンA1c(NGSP)	または6.0以上		
		または、糖尿病の服薬中			

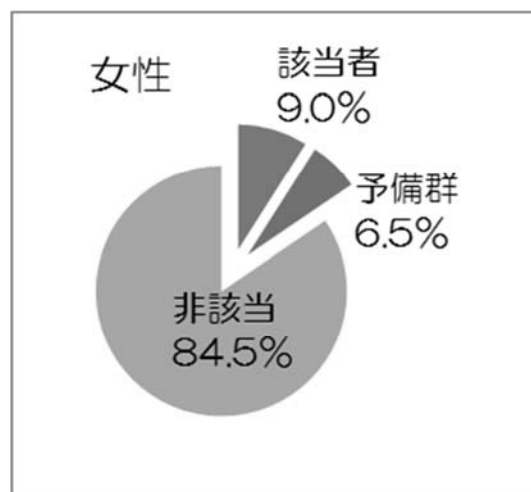
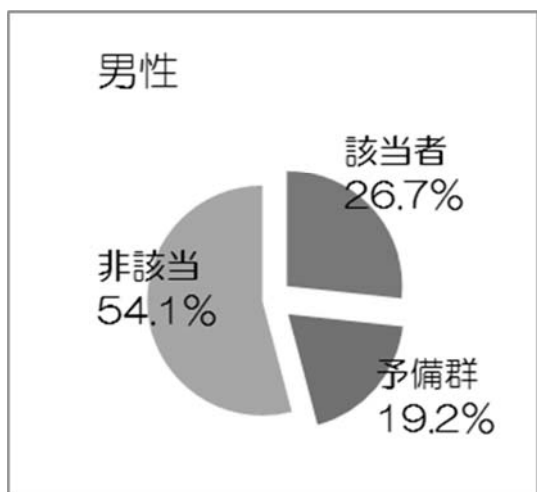
## ②-2 男女別の受診結果（法定報告）

男性受診者は、45.9%、女性受診者は、15.5%がメタボリックシンドローム該当者及びその予備群であった。40～74歳男性の約2.2人に1人、40～74歳女性の約6.5人に1人が該当または予備群となる。

国の調査結果（※）では、40～74歳男性の約1.9人に1人、40～74歳女性の約5.4人に1人が該当または予備群となる。

（※）「平成27年国民健康・栄養調査報告」（平成 29年3月厚生労働省）による

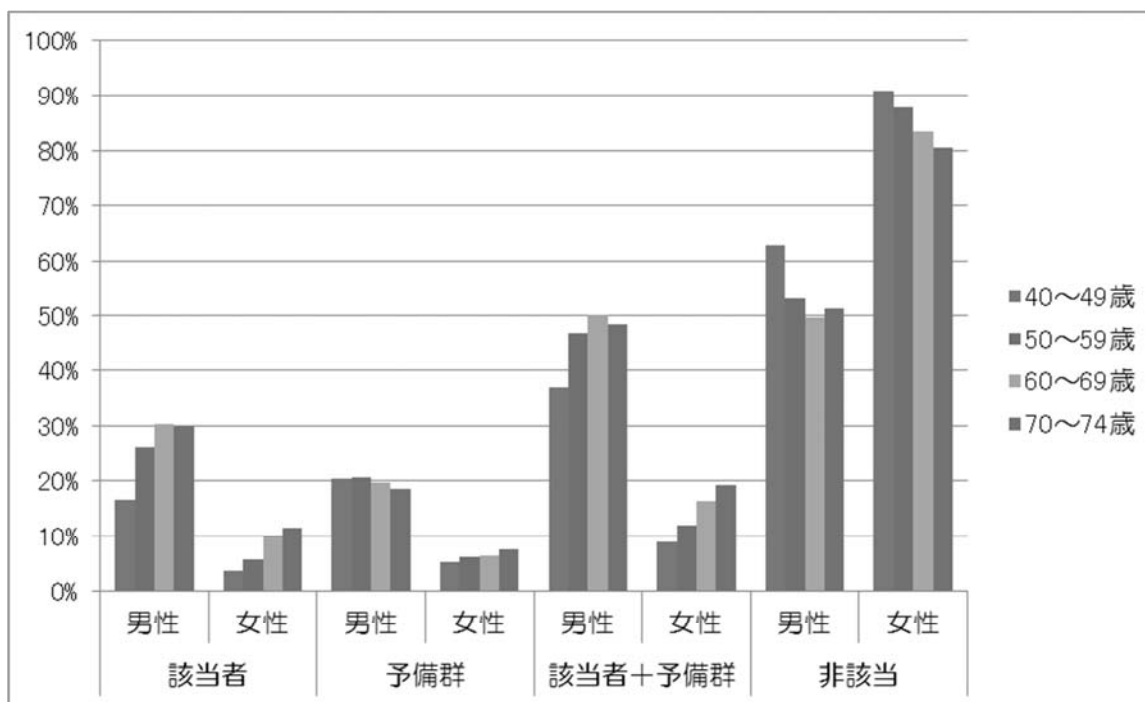
	該当者（人）	予備群（人）	非該当者（人）	評価対象者数（人）	割合		
					該当者	予備群	非該当
男性	2,815	2,023	5,704	10,542	26.7%	19.2%	54.1%
女性	1,381	1,002	13,038	15,421	9.0%	6.5%	84.5%



## ②-3 年齢別受診結果（法定報告）

メタボリックシンドローム該当者及びその予備群の人数は、全ての年代において男性が女性を上回った。特に男性は40～50歳代、女性は60歳代の間に割合が増加する。

年齢	該当者		予備群		該当者+予備群		非該当		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40～49歳	16.7%	3.7%	20.4%	5.4%	37.0%	9.1%	63.0%	90.9%	100%	100%
50～59歳	26.2%	5.9%	20.7%	6.2%	46.9%	12.0%	53.1%	88.0%	100%	100%
60～69歳	30.4%	10.0%	19.9%	6.5%	50.2%	16.5%	49.8%	83.5%	100%	100%
70～74歳	29.9%	11.7%	18.7%	7.6%	48.6%	19.3%	51.4%	80.7%	100%	100%
合計	16.9%		12.0%		28.9%		71.1%		100%	



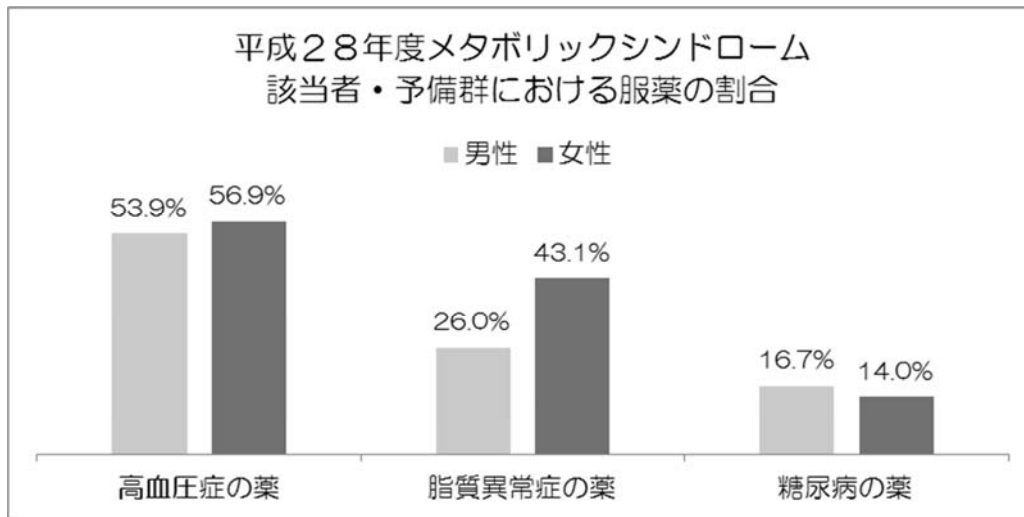
### ③服薬の状況<sup>3</sup>

メタボリックシンドローム該当者及びその予備群のうち、服薬の状況は下記のとおりである。

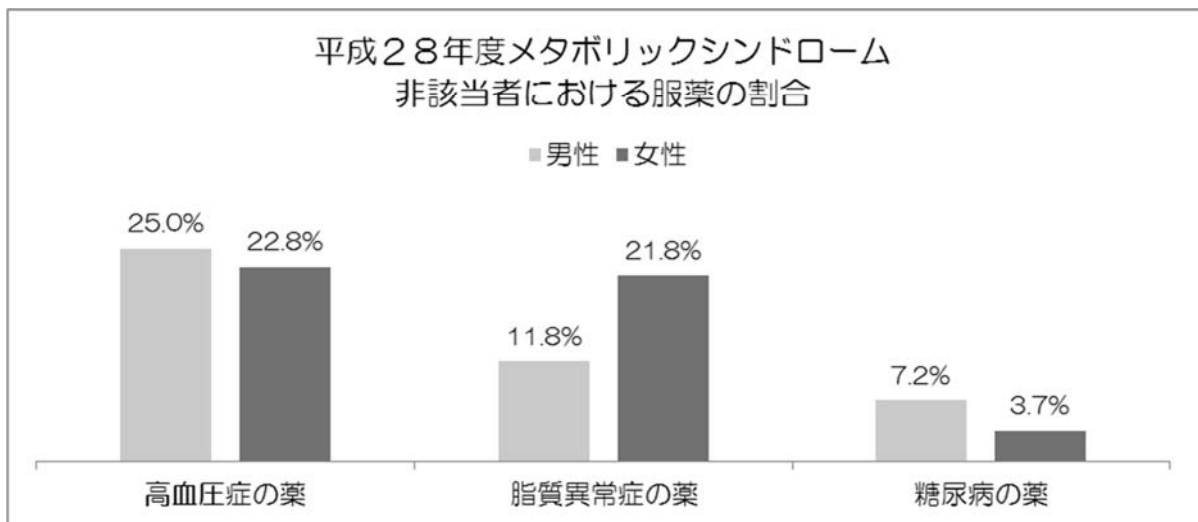
- 男女ともに約半数を超える方が高血圧症の薬を服用している。
- 脂質異常症の薬を服用している方の割合は、女性が男性の約1.7倍である。
- 糖尿病の薬を服用している方の割合は、男性が約2.7%高くなっている。
- メタボリックシンドローム非該当者は、該当者及びその予備群と比較すると、服薬をしている方の割合は1/2以下となる。

メタボリックシンドローム該当者+予備群	服薬者（人）		割合 (分母は男女別のメタボリックシンドローム該当者+予備群の合計人数)	
	男性	女性	男性	女性
服薬の種類				
高血圧症の薬	2,876	1,496	53.9%	56.9%
脂質異常症の薬	1,389	1,133	26.0%	43.1%
糖尿病の薬	891	369	16.7%	14.0%

<sup>3</sup>③服薬の状況については、法定報告事項には該当しないため北区健診システムより実施者数を元データとして国保年金課で集計したものである。



メタボリックシンドローム非該当者	服薬者 (人)		割合 (分母は男女別のメタボリックシンドローム非該当者)	
	男性	女性	男性	女性
服薬の種類				
高血圧症の薬	1,487	3,145	25.0%	22.8%
脂質異常症の薬	700	3,004	11.8%	21.8%
糖尿病の薬	426	507	7.2%	3.7%

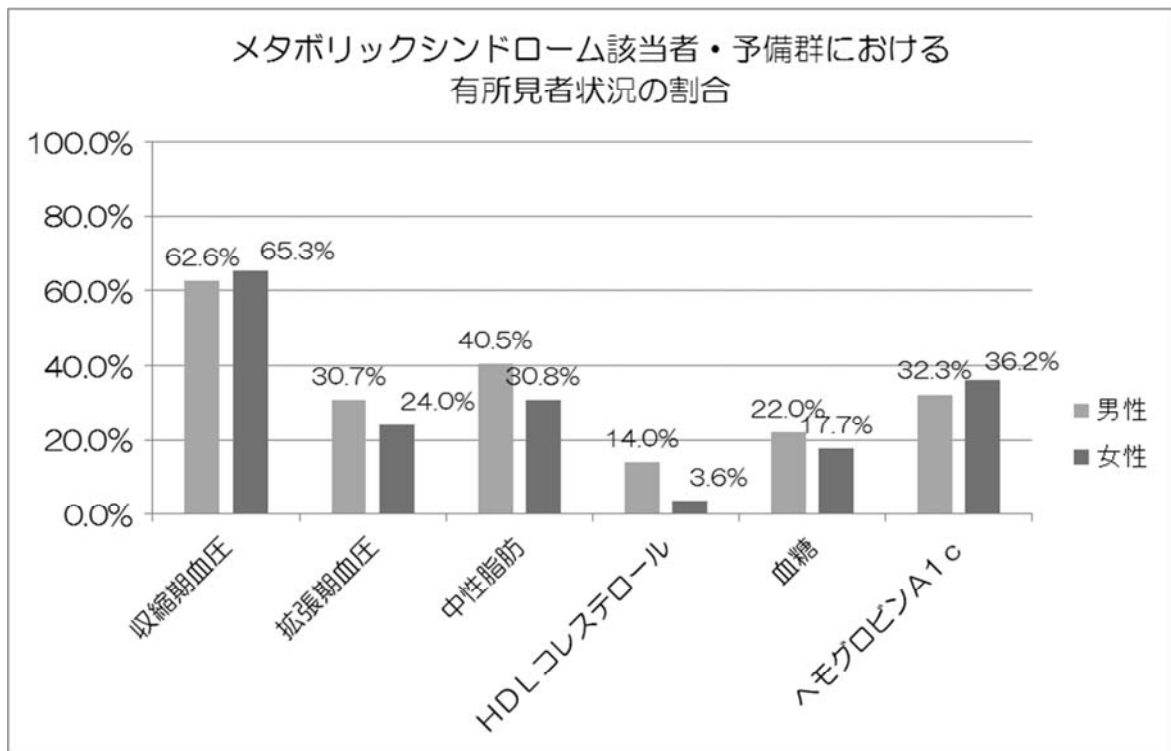


#### ④該当項目別の状況<sup>4</sup>

メタボリックシンドローム該当者及びその予備群のうち、各項目に該当した人数と割合は、次のとおりである。

血圧に関する事項に該当する方が男性、女性とも60%を超えている。

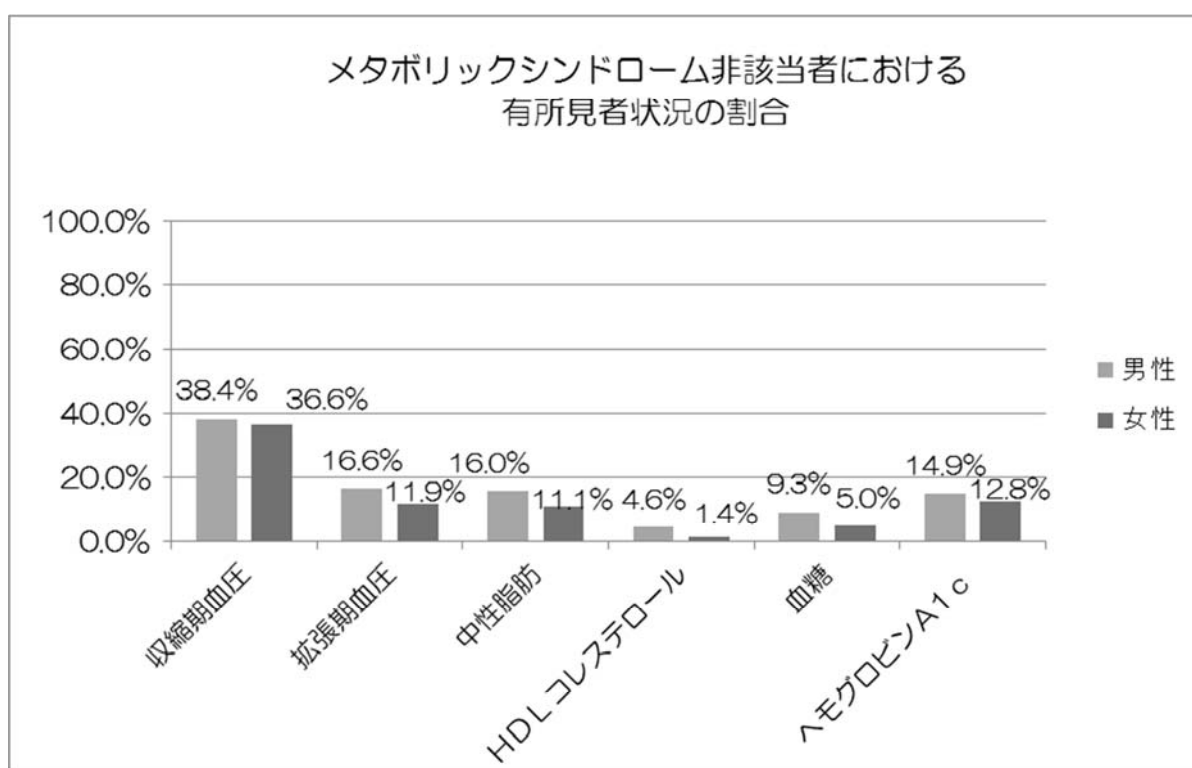
メタボリックシンドローム該当者+予備群	割合（分母は男女別のメタボリックシンドローム該当者+予備群の合計人数）					
	収縮期血圧	拡張期血圧	中性脂肪	HDLコレステロール	血糖	ヘモグロビンA1c
男性	62.6%	30.7%	40.5%	14.0%	22.0%	32.3%
女性	65.3%	24.0%	30.8%	3.6%	17.7%	36.2%



<sup>4</sup>④該当項目別の状況については、法定報告事項には該当しないため北区健診システムより実施者数を元データとして国保年金課で集計したものである。

メタボリックシンドローム非該当者のうち、各項目に該当した割合は、該当者及び予備群に比べ、血圧に関する事項を除き、ほぼ1/2以下となっている。  
非該当者においても、血圧に関する事項に該当する方が多かった。

メタボリックシンドローム非該当者	割合（分母は男女別のメタボリックシンドローム非該当者の人数）					
	収縮期血圧	拡張期血圧	中性脂肪	HDLコレステロール	血糖	ヘモグロビンA1c
男性	38.4%	16.6%	16.0%	4.6%	9.3%	14.9%
女性	36.6%	11.9%	11.1%	1.4%	5.0%	12.8%

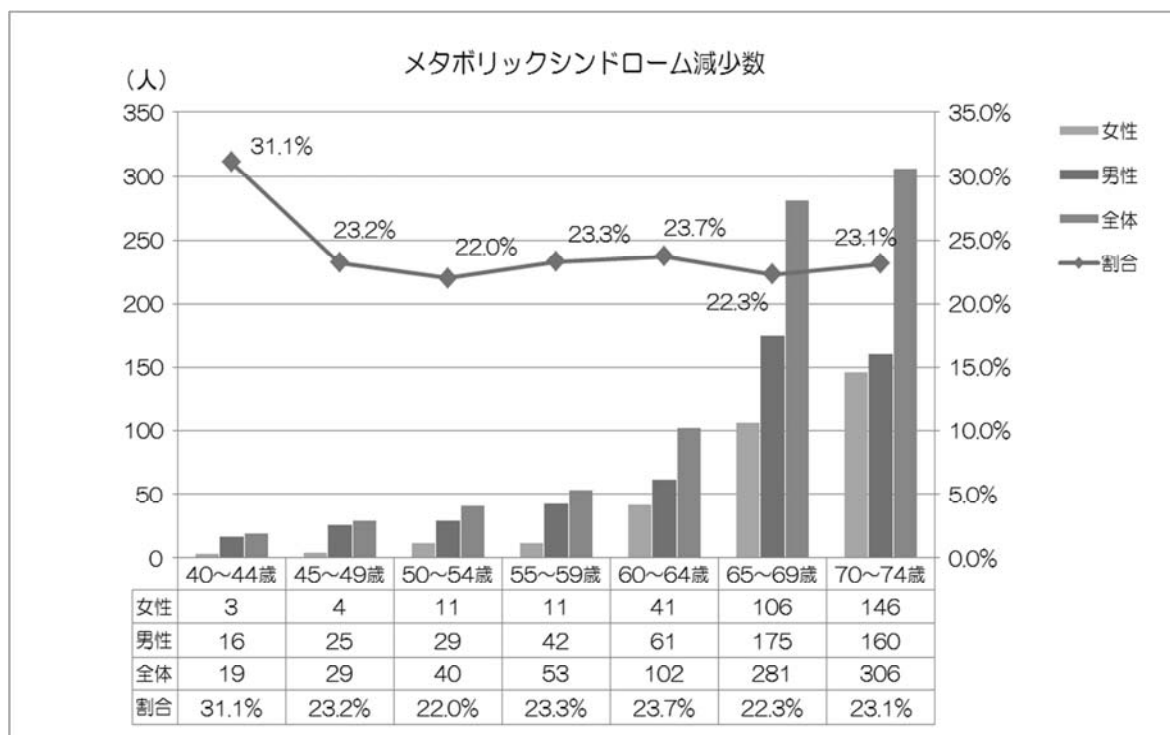


## 2 メタボリックシンドローム該当者の減少率（法定報告）

27年度の健診結果でメタボリックシンドロームに該当者し、かつ、28年度に特定健診を受診した者（下表（A））のうち、該当者から非該当になった者は12.2%となった。

さらに、該当者から予備群に改善した方10.8%を加えると、約23.0%が前年度から状況が改善している。

年齢区分	27年度 メタボリックシンドローム該当者数 (A)			(A)のうち28年度の 予備群者数(B)						(A)のうち28年度の該当者・予備群に該当しな くなった者の数(C)						減少率 (B+C)
	男性		女性	男性		女性		計		男性		女性		計		計
	人	人	人	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%
	人	人	人	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%
40~44歳	53	8	61	10	18.9%	2	25.0%	12	19.7%	6	11.3%	1	12.5%	7	11.5%	31.1%
45~49歳	105	20	125	20	19.0%	4	20.0%	24	19.2%	5	4.8%	0	0.0%	5	4.0%	23.2%
50~54歳	154	28	182	16	10.4%	3	10.7%	19	10.4%	13	8.4%	8	28.6%	21	11.5%	22.0%
55~59歳	173	54	227	23	13.3%	6	11.1%	29	12.8%	19	11.0%	5	9.3%	24	10.6%	23.3%
60~64歳	297	134	431	35	11.8%	11	8.2%	46	10.7%	26	8.8%	30	22.4%	56	13.0%	23.7%
65~69歳	837	425	1,262	93	11.1%	34	8.0%	127	10.1%	82	9.8%	72	16.9%	154	12.2%	22.3%
70~74歳	800	524	1,324	83	10.4%	51	9.7%	134	10.1%	77	9.6%	95	18.1%	172	13.0%	23.1%
計	2,419	1,193	3,612	280	11.6%	111	9.3%	391	10.8%	228	9.4%	211	17.7%	439	12.2%	23.0%



### 3 特定保健指導の実施結果

#### ① 一 1 利用率及び実施率（法定報告）

特定保健指導の利用率及び実施率は、前年度に比べ、利用率は19.0%で1.3ポイント減、実施率は17.5%で1.6ポイント減となった。動機づけ支援は、利用率が1.5ポイント減少し、実施率は0.9ポイント減少した。一方、積極的支援は、利用率は0.8%減少し、実施率は3.3ポイント減少した。積極的支援の継続率の減少が大きいのが分かる。

目標値には届かなかったものの、東京都の特別区計実施率13.6%を上回った。  
（東京都福祉保健局保健政策部「平成29年12月13日付け平成28年度特定健診・特定保健指導実施結果」による）

《平成28年度》

単位（人）

支援区分	保健指導対象者（A）	利用者（B）	終了者（C）	利用率（B/A）	継続率（C/B）	実施率（C/A）
動機付け	2,028	415	403	20.5%	97.1%	19.9%
積極的	767	116	87	15.1%	75.0%	11.3%
合計	2,795	531	490	19.0%	92.3%	17.5%

《平成27年度》

単位（人）

支援区分	保健指導対象者（A）	利用者（B）	終了者（C）	利用率（B/A）	継続率（C/B）	実施率（C/A）
動機付け	2,085	458	434	22.0%	94.8%	20.8%
積極的	810	129	118	15.9%	91.5%	14.6%
合計	2,895	587	552	20.3%	94.0%	19.1%

【参考】特定保健指導終了者数・実施率（実施者数）

年度	指導対象数（人）			指導終了者数			実施率		
	動機付け	積極的	計	動機付け	積極的	計	動機付け	積極的	計
28	2,272	863	3,135	441	98	539	19.4%	11.4%	17.2%
27	2,289	910	3,199	474	124	598	20.7%	13.6%	18.7%

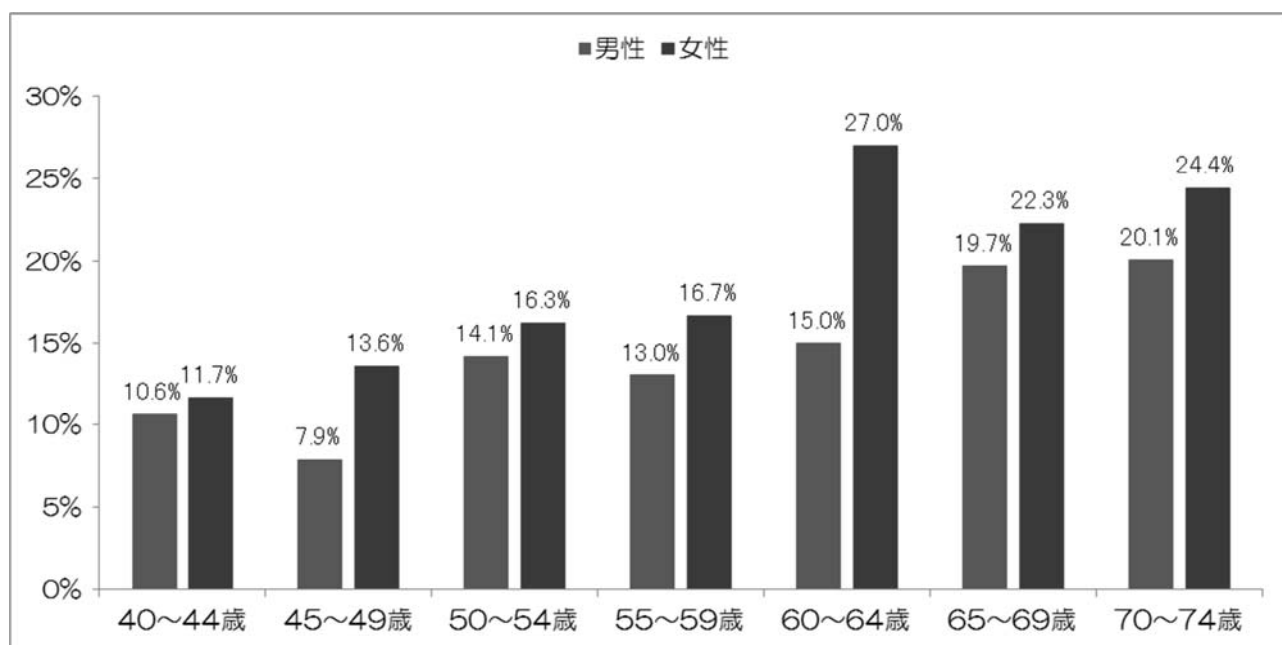
実施者数から算定した指導実施率は、17.2%であり、前年度から1.5%減少した。動機づけ支援は1.3%、積極的支援は2.2%減少している。



## ①-2 男女別・年齢別の実施率（法定報告）

全ての年代において女性の受診率が高い。男女とも40歳代、50歳代の実施率が低い。

年齢	特定保健指導対象者数（人）			実施者数（人）			割合		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
40～44歳	179	60	239	19	7	26	10.6%	11.7%	10.9%
45～49歳	215	81	296	17	11	28	7.9%	13.6%	9.5%
50～54歳	191	80	271	27	13	40	14.1%	16.3%	14.8%
55～59歳	169	78	247	22	13	35	13.0%	16.7%	14.2%
60～64歳	234	126	360	35	34	69	15.0%	27.0%	19.2%
65～69歳	478	274	752	94	61	155	19.7%	22.3%	20.6%
70～74歳	384	246	630	77	60	137	20.1%	24.4%	21.7%
計	1,850	945	2,795	291	199	490	15.7%	21.1%	17.5%



## ② 腹囲・体重の変化<sup>5</sup>

特定保健指導終了者の約72％に体重または腹囲減少の効果が見られ、体重・腹囲ともに減少した方は約45％であり、特定保健指導の効果は大きい。

なお、体重が減った方の平均は、動機付け支援は2.0kg、積極的支援は3.1kgの減で、腹囲が減った方の平均は、動機付け支援は3.3cm、積極的支援は4.3cmの減であった。

<sup>5</sup> ②腹囲・体重の変化については、法定報告事項には該当しないため北区健診システムより実施者数を元データとして国保年金課で集計したものである。

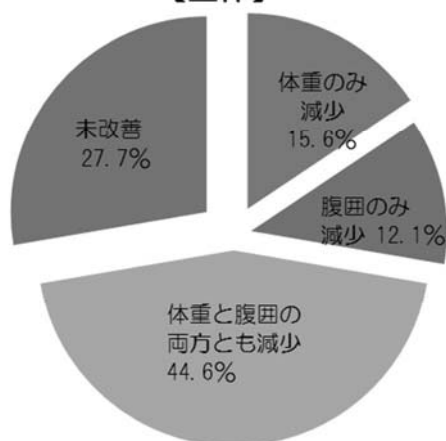
《平成28年度》

単位（人）

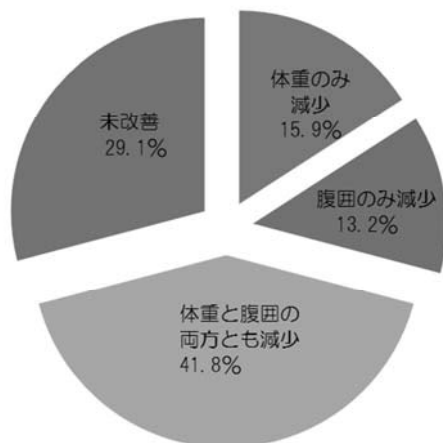
特定保健指導終了者数 （人）	計	体重のみ減少した方	腹囲のみ減少した方	両方減少した方	未改善の方
	487	76 15.6%	59 12.1%	217 44.6%	135 27.7%
動機付け支援	395	63 15.9%	52 13.2%	165 41.8%	115 29.1%
積極的支援	92	13 14.1%	7 7.6%	52 56.5%	20 21.8%

＜平成28年度 体重・腹囲の変化＞

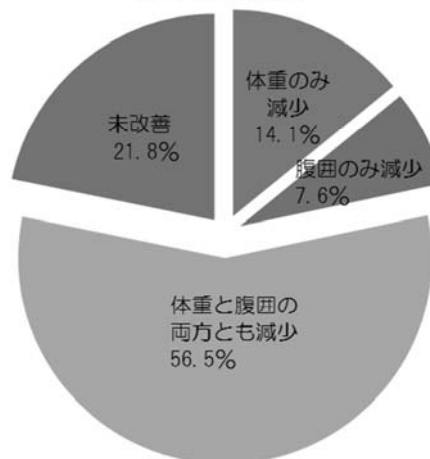
【全体】



【動機付け支援】



【積極的支援】



## 4 まとめ

平成28年度の特定健康診査・特定保健指導の実施状況は、平成27年度に比べて特定健康診査の受診率は上昇したが、特定保健指導の実施率は減少した。特定保健指導を利用しない理由として、電話勧奨の際に、忙しくて時間がとれない、自分で取り組みをしている、昨年度も利用したから利用しないなどの意見があり、興味を持つようなプログラムの検討、経年対象者に対する対策を講ずる必要がある。

28年度も前年度に引き続き、前年度未受診者でかつ50歳未満の対象者に受診勧奨のはがきを送付した。その結果、28年度の40歳代の特定健診受診率は29.0%と、27年度の受診率28.4%に比べて、受診率が若干上昇したものの、未だ40歳代の特定健康診査受診率は目標に遠く、全世代の受診率とあわせ、その向上が課題である。

平成28年度の特定健診の結果、男性は約2.2人に1人、女性は約6.5人に1人がメタボリックシンドロームの該当者又はその予備群であった。

また、健診受診者に占めるメタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合が増加しており、危機的状況が拡大している。

しかし、特定保健指導修了者の7割以上に体重や腹囲の減少が見られたため、利用率の向上により被保険者の健康に寄与するという目標を推進していく。

特定健診等実施計画第2期は平成29年度が最終年度となり、平成30年度からの第3期に向け、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準が改正され、制度の運用の見直しが行われた。北区では、平成30年3月に東京都北区国民健康保険保健事業の実施計画（データヘルス計画）第1期と一体的に策定する特定健診等実施計画第3期に沿って、被保険者の疾病予防・健康づくりや医療費適正化に寄与することを目指し、効果的かつ効率的に特定健康診査および特定保健指導を実施していく。

特定健康診査・特定保健指導実績報告書  
平成29年度版（平成28年度実績）  
平成30年3月発行

刊行物登録番号  
29-1-125

<発行>

東京都北区区民部国保年金課

東京都北区王子本町一丁目15番22号

電話 03（3908）1130（ダイヤルイン）